

校長室だより

第3号 令和3年6月18日 山王小校長室

ほなみの風

学校は子どもたちの頑張りがあふれています

子どもたちの大好きな休み時間。授業終了のチャイムと共に、友達と誘い合っ
て校庭に元気に飛び出てきます。ブランコや滑り台の遊具は、子どもたちの人
気エリアです。その中に、縄跳び用のジャンプ台（跳躍を補助する板）も人気施
設の一つになっています。これは、本校の技師が子どもたちのために板と角材を
使って作った手作りの補助板です。順番待ちの間、「校長先生、私ね、昨日は二
重跳びを10回跳べたから今日は15回を目指すんだ！」と、それぞれが自分の
目標を競うようにして教えてくれます。「自分のめあ
てを持って、休み時間をすごしているんだなあ…」と、
時間を惜しんで挑戦する姿に感心させられます。

そんな中、自分より上手に跳べたお友達に対して、
「すごい！すごい！そんなに跳べるんだね！」と友だ
ちを褒めてあげる子もあり、褒められた子はもちろん、
コ顔になっています。互いの存在が励みになり、互いに「もっと頑張ろう」とい
う気持ちになったのでしょうか。



また、時々学級担任に頼んで、私も子どもたちの家庭学習課題（宿題）の確認
（まる付け）をさせてもらうことがあります。漢字練習ノートでは、前日の課題
で間違えた漢字を、一字一字丁寧に書き直し、翌日のノートでは、正しくかつ丁
寧に仕上げているのを見ると、「今日は、間違えずに書くぞ！」と、頑張っ
て取り組んだ姿がノートを通して感じられ、うれしくなります。そうしたノートに
は、とびきりの「特別な花まる」を付けることで応えています。中には、おうち
の方と一緒に取り組んだ跡が見えるノートもあり、「忙しい中、見てくださって
いるんだなあ…」とおうちの方の思いが感じられ、ありがたく思います。

一緒に頑張る仲間の存在や、周りの「温かな励まし」「賞賛の言葉」が、一人
一人の「もっと頑張ろう」「できるようになりたい」という意欲を後押しし、そ
れがそれぞれの成長につながっているのだと改めて思います。

学校は、様々な場面で子どもたちの頑張りがあふれています。これからも、子
どもたちの頑張りを教職員と共に応援していきたいと思ひます。

